

# ほっぷ・ステップ・JUMP!

2005.9.7

vol.68

発行 北海道の子どもと保父の会

<http://homepage3.nifty.com/~hokkaido-hofunokai>

## 巻頭言

今年の夏は暑かったですね。お盆を過ぎたあたりから風が冷たくなって「そろそろ秋かね～」なんて思っていたら9月になってもこの暑さ、さすがに朝夕は気温が低いものの、まだまだ水あそびが出来そうなくらいの気温でびっくりしてしまいます。でも、いい夏だったな。例年気温の低い夏だと、この巻頭言に文句をたらたら書いていたような気がしますが、今年はそんな気分には一度もならなかったですね。個人的にはもっと泥や水あそびを満喫したかったのですが、なんだか行事におされてしまって……。もうすでに反省です。

さて、今現在私の園は、運動会の準備真っ最中です（これが出る頃には、終わってる?!）。今年は年長担当なので、年長の遊戯を考えています。もともと遊戯があまり得意ではない私ですが、そんなことは言っていられず、子どもたちと一緒に振り付けを考えて、やっと2/3位できたところでしょうか？ 年長の遊戯といえば、運動会の花!! 未満児や年少、年中児のように、可愛いだけじゃダメなんだねえ。今からなかなかのプレッシャーを感じていますが、それに負けないように、楽しみながら取り組みたいと思います。行事は準備が大変だけど、終わったあとの達成感や、子ども達と喜びや悔しさを共感し合えるの行事ならではのすからね……。行事が終わった後の子ども達って、多少ですが一皮ムケたって思えるのは、私の欲目でしょうか？ とにかくあと少し。それが終われば、楽しい楽しい「秋キャンプ」が待っています。がんばるぞ!! オウー!!!

……って目的はキャンプではないのですが……。やっぱりキャンプは、イイ!! 8月の末に職場の同僚と私は長男のみを連れて、何年か振りのテントを張ってのキャンプに行ってきた。外で食べるご飯、昼からビールをおおっぴらに飲む贅沢感、ランタンの明かり……。上げていくとキリがないのですが、なにより場所が良かった。今回は子連れだったので、そんな人達には最高の条件でした。まず、小規模だけどアスレチックがあり、そして海水を川のように引いて浅瀬をつくってあるので子ども達にとっては、絶好の生き物ゲットポイント。港に面しているの、チョットした釣りも楽しめます（でも地元のおじさんの話では、ヒラメも上がるとか……）。同僚の小4の子がウミタナゴ（20センチくらい）を釣り上げ、塩焼きにいただきました。

勿論海ですから、泳ぎたくなりますよね？ そんな時には、徒歩数十秒でこじんまりとしたビーチに到着。そこには岩場もあり、色々な楽しみ方ができます（今回は、雨のため泳げませんでしたが……）。どこかといいますと、これが、シークレットなんですね。そこを紹介してくれた同僚曰く、「穴場」だそうで、やたらと教えない方が良くかと思しますので……。一応ヒントに写真だけ載せますね。早く又行きたいなあ……。

保育とは関係ない話で終わりますが、次回の例会で、夏の思い出でも語りませんか？  
なんて……変ですかね。



わたる

## オススメ絵本

『せかいいち大きなおんなのこのものがたり』

富山房

アン・アイザックス文 / ポール O. ゼリンスキー 絵. 落合恵子訳

女の子のはなしと馬鹿にしては、いけません。

ものすごく豪快で、ものすごく爽快なお話です。絵もなかなか素敵です。

女の子が赤ちゃんの時、母親の抱かされている絵（赤ちゃんがやたらとでかい）が好きですね。

これからの読書の秋にいかがでしょうか？



## 例会報告

昨年が続いて、まこと保育所の「園庭開放ビヤガーデン」に参加させていただきました。木曜日という事もありなかなか集まれず、昨年のように“お手伝いをする”というよりは、“ビールを飲ませていただいた”という感じがしました(笑)。

ホントに楽しそうな子ども達の顔が印象的でした。



今年も文教の学生が手伝いに来てました。真面目に働いてましたよ。お父さんたちも活躍していました。有野くんも子どもとあそび、親と話し、精力的に動いていました。



ビアガーデンのあと、東札幌のつぼ八に行きました。

本間くんの現在の職場での状況について、皆で突込みを入れたり、学生の恋愛話で盛りあがったりしました。さらに、たまたま、すぐ後ろに来た、まこと保育園のメンバーと合流。

A氏、M氏は、やる気がみなぎってました(何の?)。

## 連載 PART1 ~職場の「インフォメーション」で毎月連載が始めた西村くんからのコラムです。

### 子に倅あれ ~父親として思うこと~ 第3話(6月)

「くまさんが、ふくろをみつけました。おや、なにかな?」と今日も倅汰の音読の声が部屋に響きます。国語の宿題なのですが、宿題は回数の指定が無く本人任せになっています。当の本人は「10回読む」と言い張り、教科書を見ずに音読が暗記となっているのです。初めこそ「自信がない」と弱気でしたが、今は昼も夜も「くまさんが!」と声を張り上げています。とにかく最近の倅汰の「ヤル気」は「はりきり一年生」となっているのです。

音楽ではピアノを習い始めたねえねえに対抗するがごとく、「鍵盤ハーモニカ」を「きいてー」とせがみ、学校の準備も自分から進んでやっています。何が彼のヤル気に火をつけているのか。倅汰は「学校がたのしい」と話しています。「先生すき!」「友達ふえたよ。」「〇〇ほめてもらった!」等が倅汰のエネルギーになっているようです。本当に周りの環境は子どもに大きな力を与えてくれます。

“生きてるのがっておもしろい しらないことがいっぱいだ やりたいことがいっぱいだ”  
絵本作家でもある谷川俊太郎さんが作詞している校歌。探求するところ、素晴らしさの実体験を通学している学校は大切にしています。学校や担任を信じて子どもを応援する気持ち、わが子の力を信じる心が大切なのだと、一人の保護者として思うこの頃です。

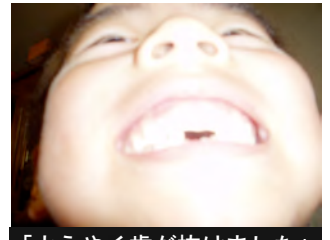


「ロボット兵だぞー」

~つづく~

### 子に倅あれ ~父親として思うこと~ 第4話(7月)

父の日の前日「授業参観」がありました。両親揃っての姿が多々見られ、父親の子育てに対する意識の高さを感じました。「友達と仲良くしているか、先生の話聞いて理解しているか」等々半信半疑な気持ちがありましたが、4年生の友希はうれし恥ずかしそうに皆の前で発表し、1年生の倅汰はふざけながらも製作をしていました。休み時間でも倅汰はずっとサッカーに夢中でした。二人とも学校をととても楽しんでいる様子がそこにはありました。私たちも微笑みながらの参観となりました。



「ようやく歯が抜けました」

親にとっては初めこそどきどきの日でしたが、子どもにとっては「見に来てくれてうれしい」わくわくな一日なのでしょう。そして下校してきて「どうだった？」と言いたげな二人に「かっこよかったよ！」と一杯褒めてあげました。その言葉は二人にとって自信に繋がったことでしょうか（親バカですね）。

新聞の記事に「父親チェック」がありました。「父親として結構いけてる」と思っている?! 私は早速チャレンジ。しかし・・・結果は「もうすこし」・・・。

1、子どもの担任の氏名 2、友達の名前3人以上 3、悩んでいること 4、子どもが病気になったら早く帰る。この4つはクリアならず。さあお宅のお父さんはいかがですか。

～つづく～

## 連載 PART2 ～大森さんからは可愛い家族のお話です。

### 愛犬 MIC の育児日誌 Vol.2

6月5日（日）

このころから、だいぶおちついて遊べるようになってきた。

名前を呼ぶとくるそぶりを見せるようになってきた。

6月19日（日）

トイレトレーニング続行中。最近、トイレですることもあるがシートをかじる姿を見る。

6月26日（日）

かなりいたずらをするようになってきた。シートもよくかじっている。

7月4日（月）

2回目のワクチンを受けた。体重は2.15キロになっていた。

7月11日（月）

お散歩デビュー、あちこちにおいを嗅ぐ、とてもうれしそう。

7月22日（金）

またもやシートをビリビリ、ダメーと叱っても効き目なし。かえってはしゃいだりしてしまう。

8月4日（木）

ちょうど4ヶ月になった。散歩もだいぶ上手になり、少しづつ環境を変えることによってわるさも少なくなってきた。

8月29日（日）

上の歯が抜けた。そろそろ乳歯から永久歯へと変わっていく時期に入ってきた。



初公開のMICで～す。

前回はほめる子育てを考えてみたが、今回は叱るということについて考えてみたいと思う。

子育てをしているとき、つい子どもに叱らなくてもいいのに叱ってしまったり、ついイライラして叱ってしまったことはないだろうか。

愛犬を育てていく中でも同じことが言える部分がある。前回とつながるが、叱って教えることは難しい。部屋のものをかじったり（こどもの場合、ものを口に入れたり）、やたらと吠えたり（やたらと泣いたり）、そそぐをしたり（失敗したり）。このような場面に直面すると、ついイライラして叱りたくなるものです。

そこでちょっと待って！一呼吸おいてチェックしてみましよう。

1.飼主さん（お母さん、お父さん）、疲れてませんか？

仕事で疲れていたり、別のことでイライラしているときに、つい感情的に叱ってしまうことはないだろうか。その日の気分で愛犬（わが子）を振り回さないこと。

2.愛犬（わが子）の体調は悪くないですか？

いつもは吠えない（泣かない）犬（わが子）が吠えたり（泣いたり）する場合、病気やケガが原因ということも。

3.叱らずにすむ環境を作っていますか？

まえもってイタズラされそうなもの（口に入れて危険なもの）を片付けたり、あらかじめ叱らずにすむ環境・状況を作っておくことが大事。

はじめにもいいましたように、動物と人間とはちがうかもしれませんが、育てていく中で共通点を感じるのも確かです。なにか、育てるといふ部分で原点のようなものを感じます。

そこで、今回の提案なのですが、正しい叱り方を考えてみてはどうでしょう。

以上

## 幼稚園教員資格認定試験を受けてきました。

以前からホームページで話題になっていました、文科省が行う「幼稚園教員資格認定試験」の一次試験を9月4日に受けてきました。この試験の趣旨は、言わずと知れた「幼保一元化の促進」です。一元化については色々な思いを抱きつつも、比較的簡単に幼稚園教諭二級の免許がもらえるのなら受けたい手はありません。

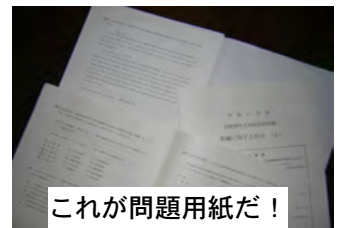
試験日まで二ヶ月前の準備期間があったにもかかわらず、何を勉強したらいいのか、さっぱりわからん！そんな状態でした。あまりにも範囲が広すぎて・・・↓。

一般教養科目は、人文、社会、自然の3分野及び外国語（英語）。

教職に関する科目として、教職概論、幼児教育教師論、教育行財政、教育制度論、教育行政学、教育社会学、教育経営論、教育課程論、教育内容論、学習指導論、教育方法・技術論、幼児理解、教育相談等…

実際の問題の中身は予想したほど難しくはありませんでしたが、一般教養はツライ。遠い遠い昔を思い出すのが大変でした。。数学のさいん・こさいん…？、そんなのやってないぞ！（やったようですが…） 十返舎一九？、聞いた事あるなあ。フランス革命？、なんだっけ？？ そんな感じでした。幸い五者択一なので、全部答えは埋めましたが、どうなることやら。結果はまたお知らせしますね。

もし合格したら、10月16日に二次試験があります。記述問題と実際に指導案をたてるんだって。どうなるかな？ ハハハ（ノ\*▽\*）



桑原

## 次回例会のお知らせ

次回の例会は、9月22日（木）19時から幌北中央保育園にて行います。お題は「保育交流会」です。日頃の保育で感じている事、今取り組んでいる事、行き詰まっている事、いろんな保育の話をしましょう。

尚、幌北中央保育園は19時まで延長保育を行っています。あまり早く行きすぎるとお仕事の邪魔になりますので、時間を守ってお越し下さい <(\_ \_)>

事務局 幌北中央保育園 札幌市北区北20条西3丁目19  
☎ 011-716-1841 FAX 011-716-1852  
発行責任者 桑原 一司